

道路事業

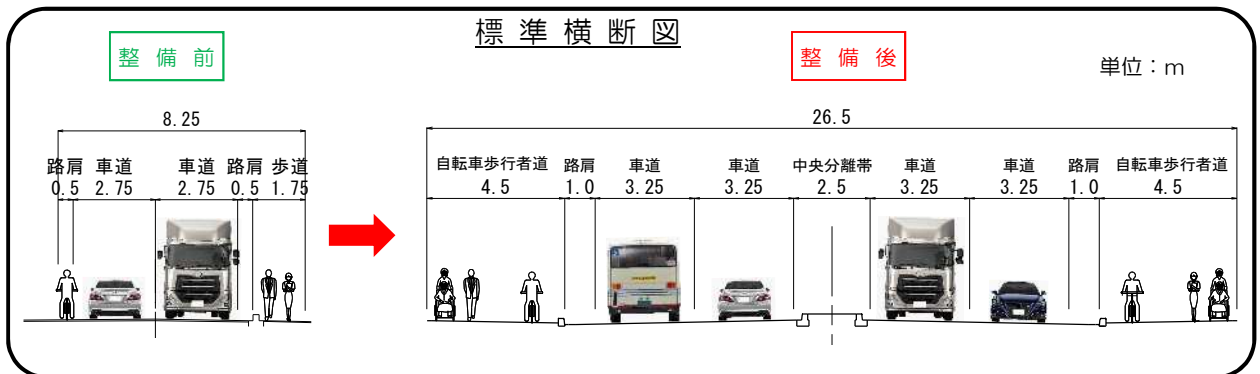
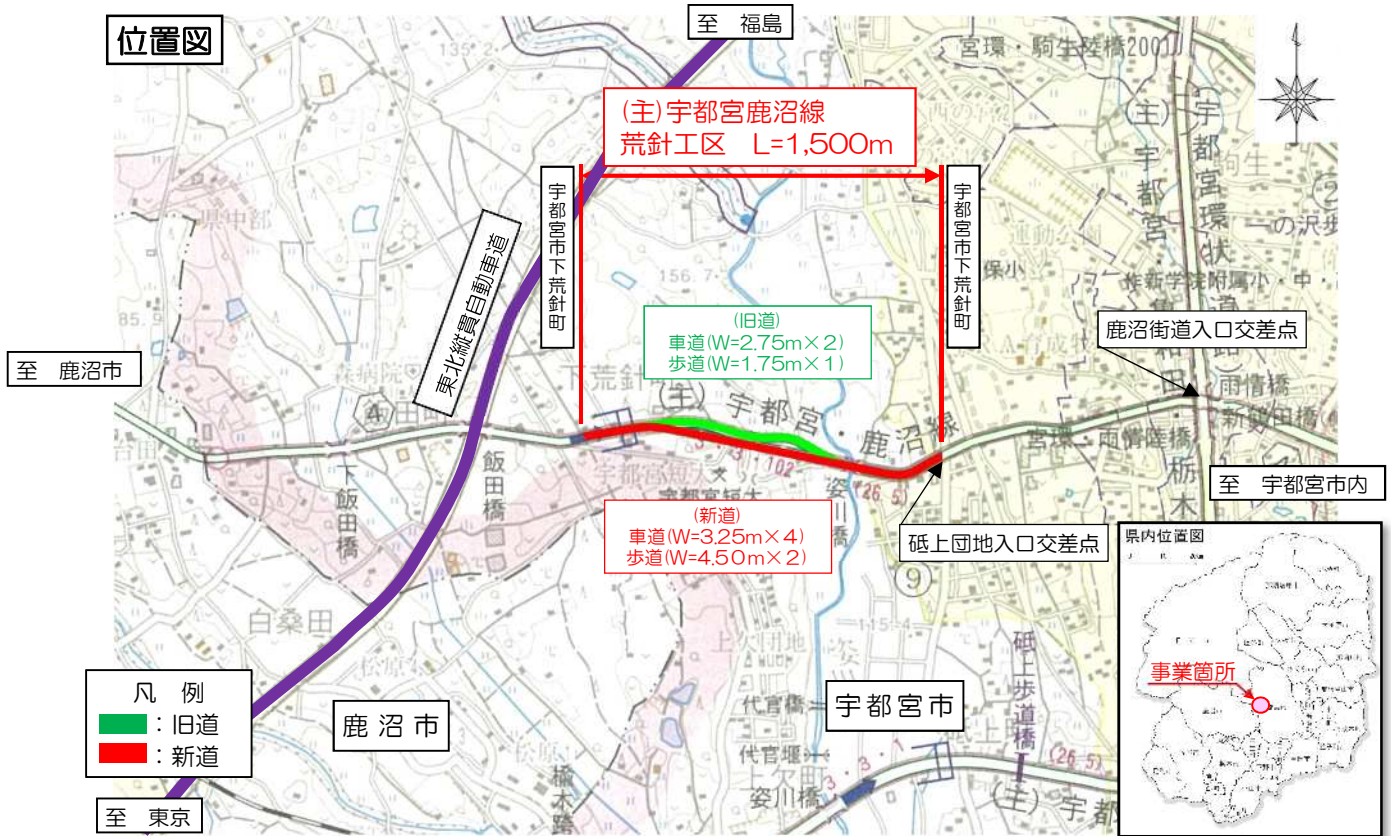
うつのみやかぬま あらはり
主要地方道 宇都宮鹿沼線 荒針工区
 (平成27 (2015) 年6月 供用)

1. 事業概要

主要地方道宇都宮鹿沼線は、うつのみや宇都宮市を起点とし、かぬま鹿沼市に至る主要な幹線道路であり、県中央地域の社会経済活動はもとより、沿線地域の日常生活を支える重要な路線である。また、災害時における応急活動や物資等の輸送を確保する第3次緊急輸送道路に指定されている。

しかしながら、本事業区間においては、交通容量の不足により慢性的な交通渋滞が発生しているとともに、歩道の幅員が狭い（一部未整備）ことから円滑で安全な通行に支障を来している状況にあった。

このため、栃木県では、交通の円滑化、歩行者・自転車等の安全確保、公共交通（路線バス）の利便性向上、緊急輸送道路ネットワークの強化を目的として、平成12年度から4車線への拡幅事業に着手し、平成27年6月に供用を開始した。



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 主要地方道宇都宮鹿沼線
宇都宮市下荒針町^{しもあらはりまち}
- ◆ 全体延長 : L=1,500m
- ◆ 道路幅員 : W=26.5m (車道13.0m、自転車歩行者道4.5m両側)
- ◆ 総事業費 : 約56億円
- ◆ 事業期間 : 平成12年度～平成27年度 (供用開始:平成27年6月)

2. 事業の目的・必要性

- ① 交通の円滑化
- ② 歩行者・自転車等の安全確保
- ③ 公共交通(路線バス)の利便性向上
- ④ 緊急輸送道路ネットワークの強化

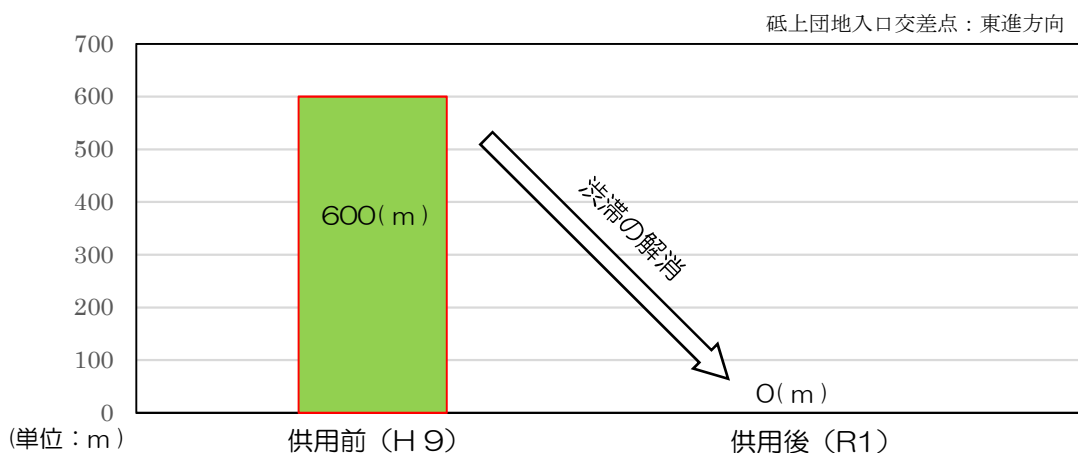
3. 事業の整備効果等

① 交通の円滑化

1) 車道の4車線化やバスベいの整備により、慢性的な渋滞が解消した。

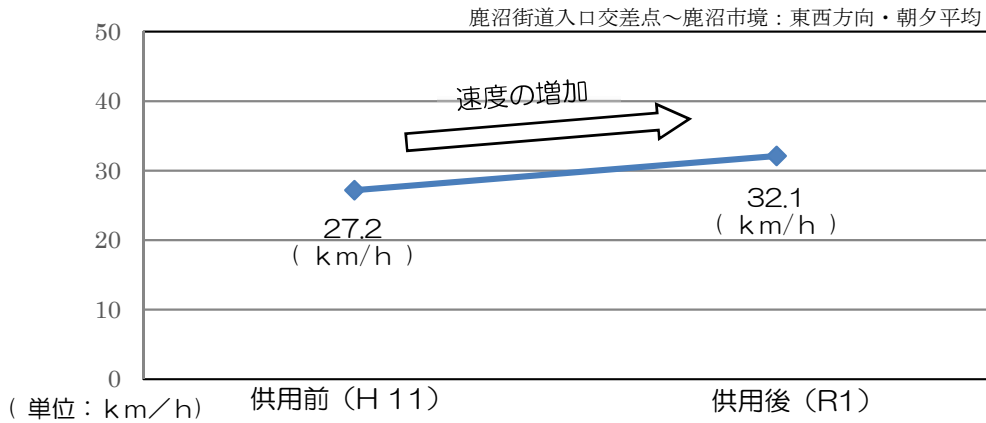


<通勤時間帯の渋滞長の比較>



2) 旅行速度が高まるなど、交通の円滑化が図られた。

＜通勤時間帯平均旅行速度の比較＞



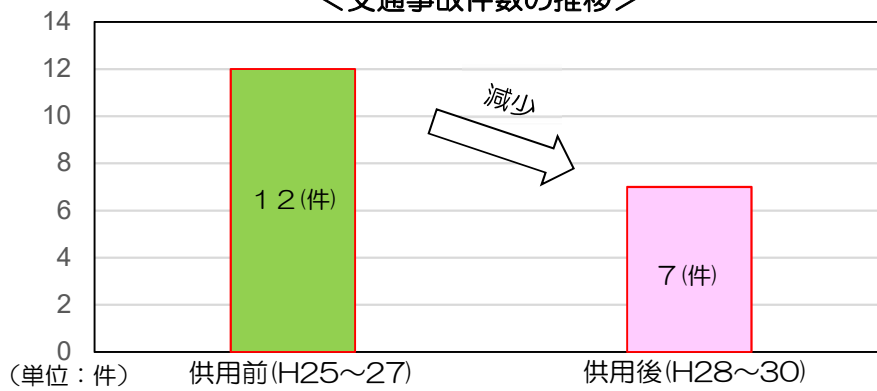
② 歩行者・自転車等の安全確保

1) 自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保された。



2) 事業区間の交通事故件数が減少した。

＜交通事故件数の推移＞



③ 公共交通(路線バス)の利便性向上

- 1) 車道の4車線化やバスベいの整備により、路線バスの定時性が向上した。
- 2) バス停上屋の整備により、バス利用者の利便性が向上した。
- 3) バス事業者へのヒアリングにおいて「運転がしやすくなった」「定時性が向上した」との回答を得た。

④ 緊急輸送道路ネットワークの強化

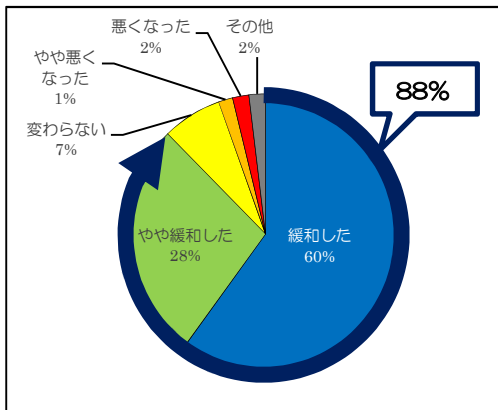
- 1) 一級河川姿川の改修計画に合わせた橋梁の架替により、災害時における通行規制のリスクが低減した。
- 2) 令和元年台風第19号においても、通行規制が行われることなく、緊急輸送道路としての機能が果たされた。

4. 地元の声・アンケート結果

主要地方道宇都宮鹿沼線荒針工区の整備効果を検証するため、地域住民や病院、学校、企業等にアンケート調査を実施した。

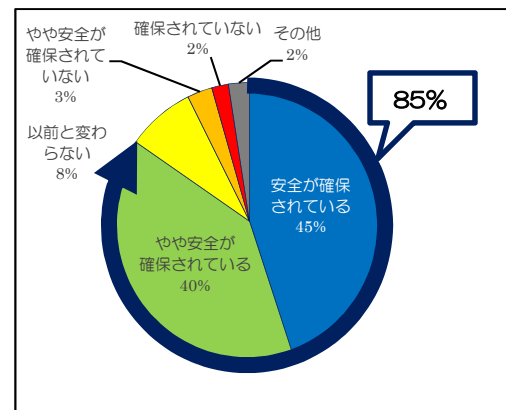
(回答数/配布数：426/740件 回答率 57% ※有効回答数は設問により異なる。)

(1) 渋滞の緩和



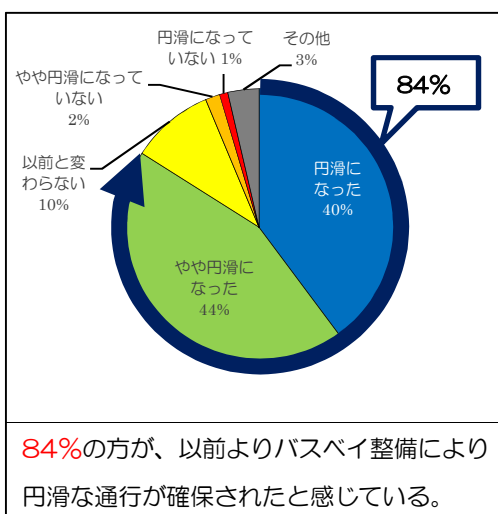
88%の方が、以前より渋滞が緩和したと感じている。

(2) 歩行者・自転車通行の安全性



85%の方が、以前より安全な通行が確保されていると感じている。

(3) バスベイ整備による円滑な通行



84%の方が、以前よりバスベイ整備により円滑な通行が確保されたと感じている。

自由意見

- ◇ 安全・快適に通行する事が出来るようになった。
- ◇ 歩道が整備され、歩きやすく安心して通行できるようになった。
- ◇ 4車線になったことにより、災害時の緊急対応に安心できるようになった。
- ◆ 鹿沼方面の整備を早く進めて欲しい。
- ◆ 4車線になったことにより、スピードを出す車が多く無理な割り込みが危険である。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、①交通の円滑化、②歩行者・自転車等の安全な通行空間の確保、③公共交通（路線バス）の利便性向上、④緊急輸送道路ネットワークの強化等、様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査からも事業の目的を達成する効果を確認できた。

一方、アンケート調査で意見のうち「4車線になったことによりスピードを出す車が多く無理な割り込みが危険である」などの交通ルール違反やマナーの改善については、交通管理者に情報提供する。また、「鹿沼方面の整備を早く進めて欲しい」については、令和元年度から着手したところであり、引き続き事業を実施していく。

6. 同種事業への反映

本事業においては、車道の4車線化及びバスベいの整備による交通の円滑化、自転車歩行者道の整備による歩行者・自転車の安全確保、公共交通（路線バス）の利便性向上など十分な効果を確認することができた。

特に、バスベいの整備については、アンケート結果からも、自動車交通量が多いバス路線における交通の円滑化に効果的であったことから、今後の同種事業の計画策定等に役立てていく。



栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2410 FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ